

社会保障制度の遺伝学的基盤

人生は不公平、だから社会保障制度が必要

あなたは健常者として生まれる努力をしましたか？

仕事で成功するには努力と運が大切！

健康も仕事も、運がよかった人がお金出し合って悪かった人に再配分するのが社会保障

人類の遺伝的負荷は想像以上に大きい。

能力の分布をみると、子どもたちの約15%は何らかのハンディキャップをもっている。

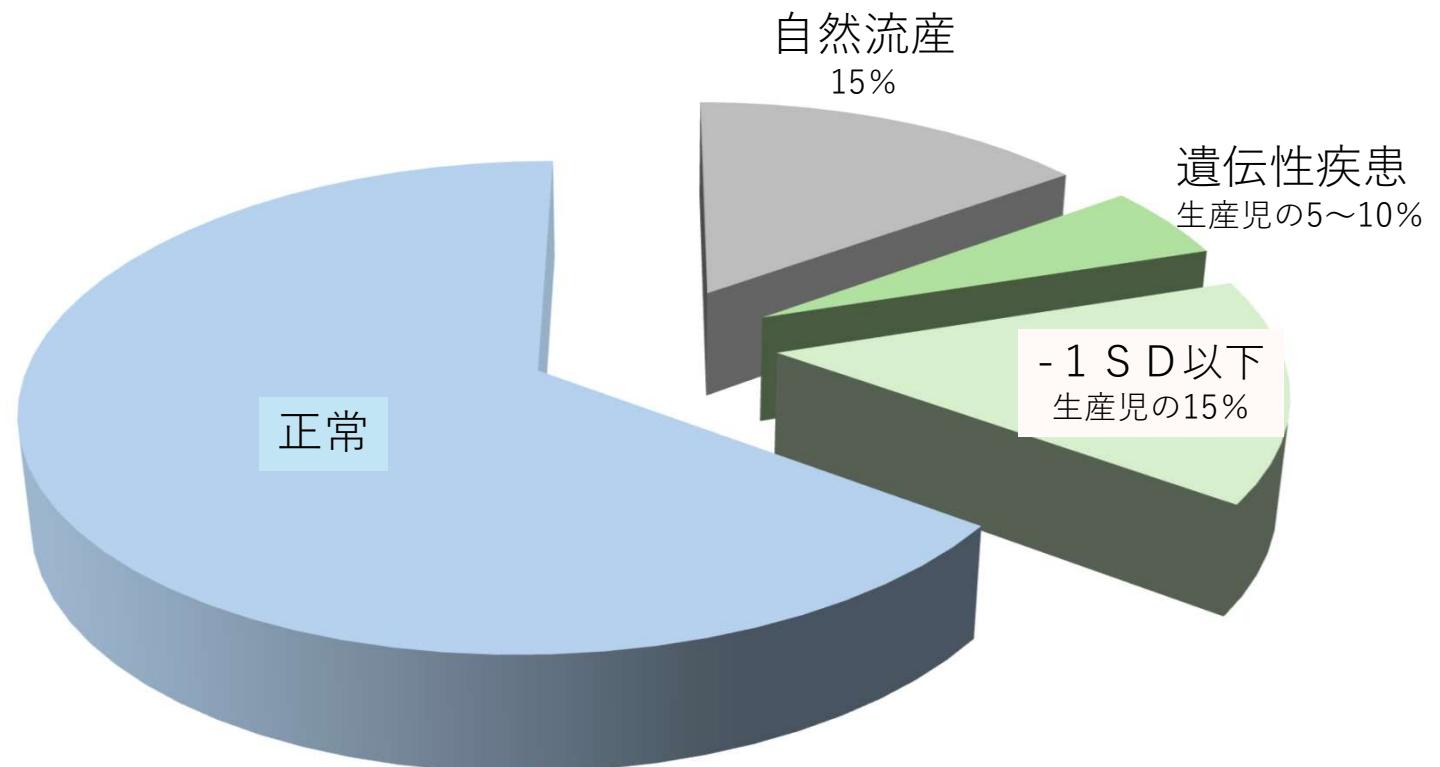
国連の科学委員会の報告によると新生児の5~10%が遺伝性疾患だという。

生まれもったハンディキャップは本人の責任に依らない偶然だ。

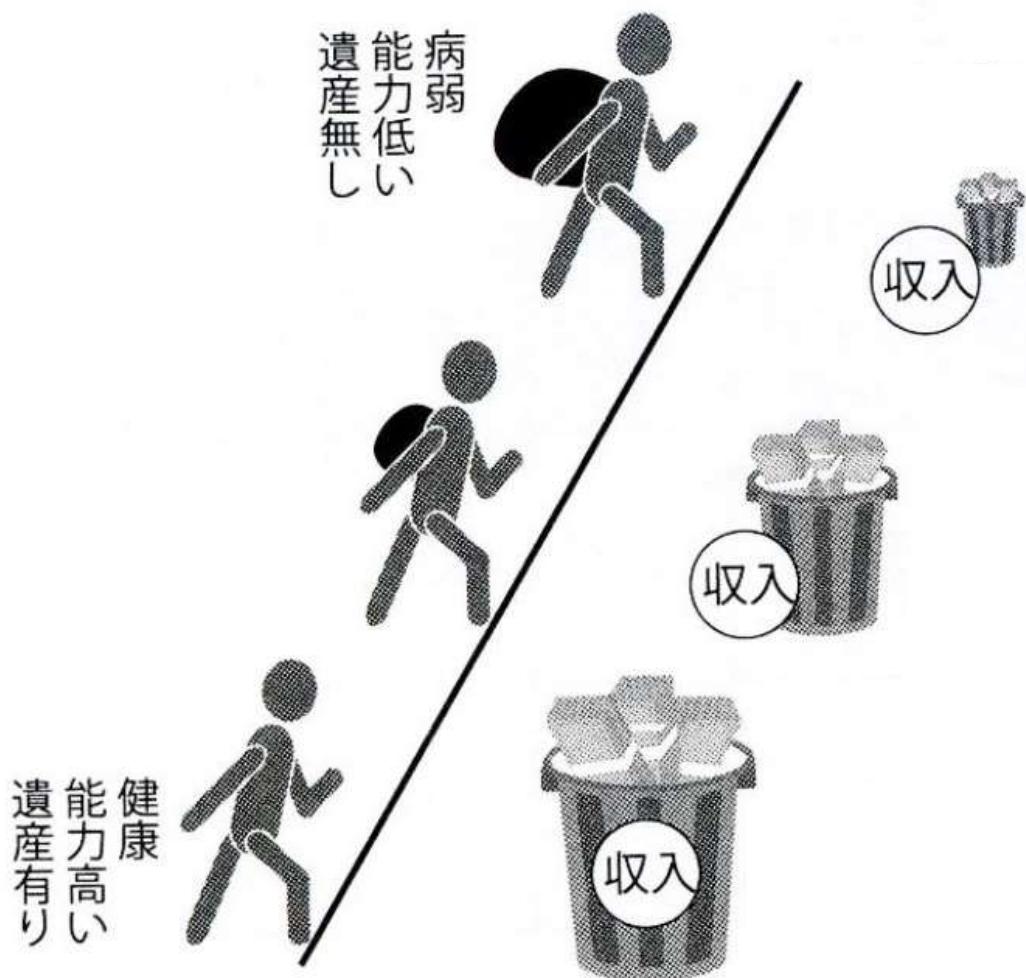
健常者といわれる人は、自分で努力して健常者になったわけではない。

こんな不公平を是正する取り組みが人類には必要だ。

人類の遺伝的負荷 – 認識された妊娠中の割合 –



原子放射線の影響に関する国連科学委員会1977年を改変

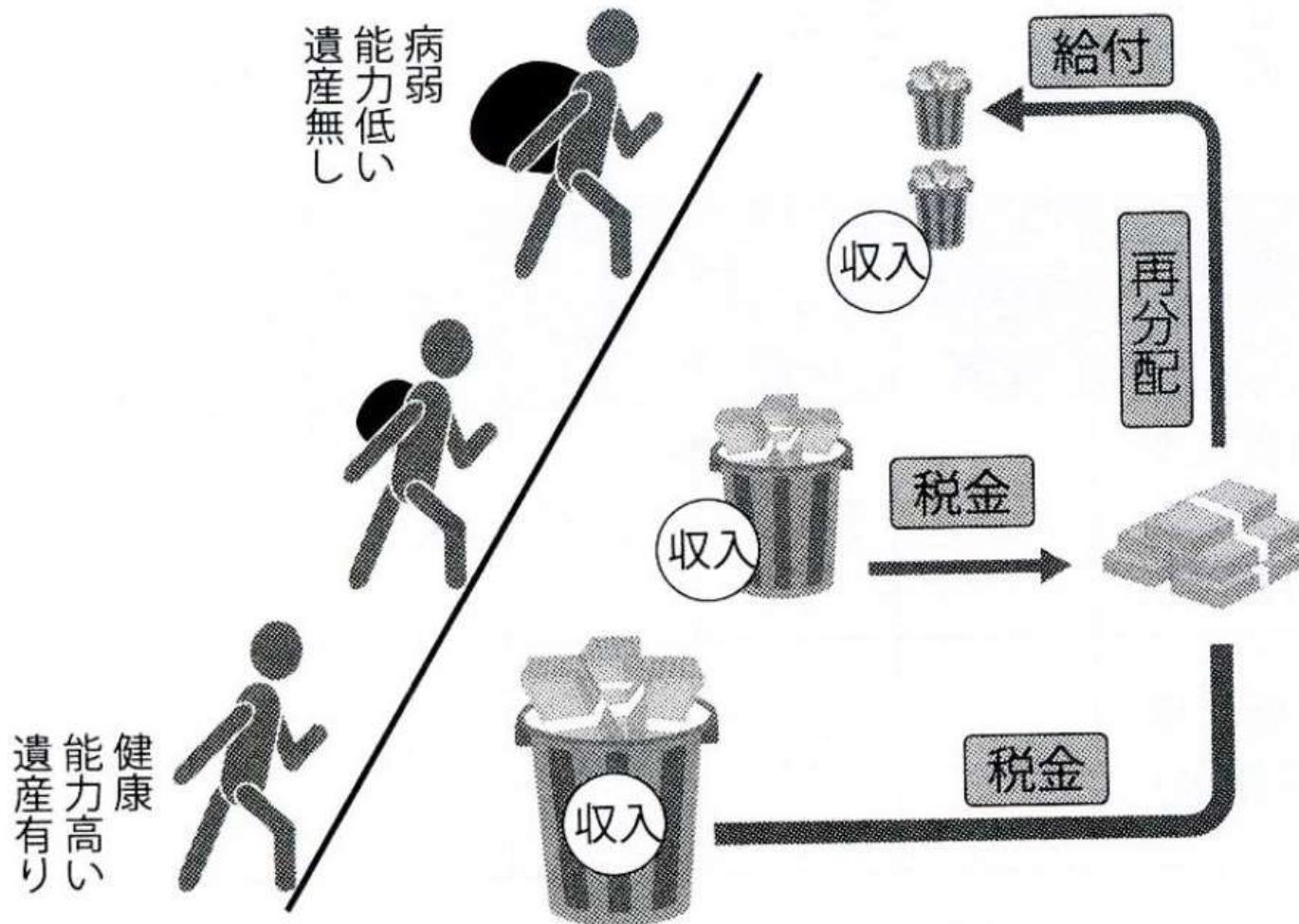


所得の再分配 しない社会

人類の歴史のつい最近まで、不平等は当たり前のことで、自分の責任で生命や生活を維持しなければならなかった。

今でも同じような状況は世界中に見られる。

所得の再分配 する社会



収入に応じて税金や社会保険料を支払い、不運の人も同等の安全や安心を享受する。税制や社会保障制度は、不平等を是正する政策。

警察や消防や教育や公衆衛生は税金でまかなわれ、医療保険や年金保険は保険料で賄われる。

これを所得の再分配という。不平等の是正と格差の解消の機能をもつ。

もし、この再分配の仕組みがないとどうなるだろう。貧富の差が大きくなり、社会は分断されて、治安が悪くなるだろう。

しかし、再分配の仕組みを、不当だという人たちがいる。私有財産の収奪だとして断罪する。

その考え方を知っておこう。

再分配は不当な収奪か？

一生懸命働いて得た成果を、怠惰な貧困者たちに分け与えることは、正義に反するという。

貧しい家庭環境から努力して這い上がって資産を築いた人たちの中には、貧困は怠惰の結果であり、努力が足りないと考える。

怠惰な人たちや、法の目をくぐって社会福祉に依存する人たちがいることは確かだ。一生懸命に働いてもなかなかゆとりを持てない人が、働くのに働かない人たちに施しをするしなければならないのは不合理だ。

福祉の歴史でも、最低生活を保障したら、働かない人が増えて、働いている人が払う税金が高くなつて、制度が維持できなくなつたことがある。**福祉依存の人を出さない工夫**が必要だ。

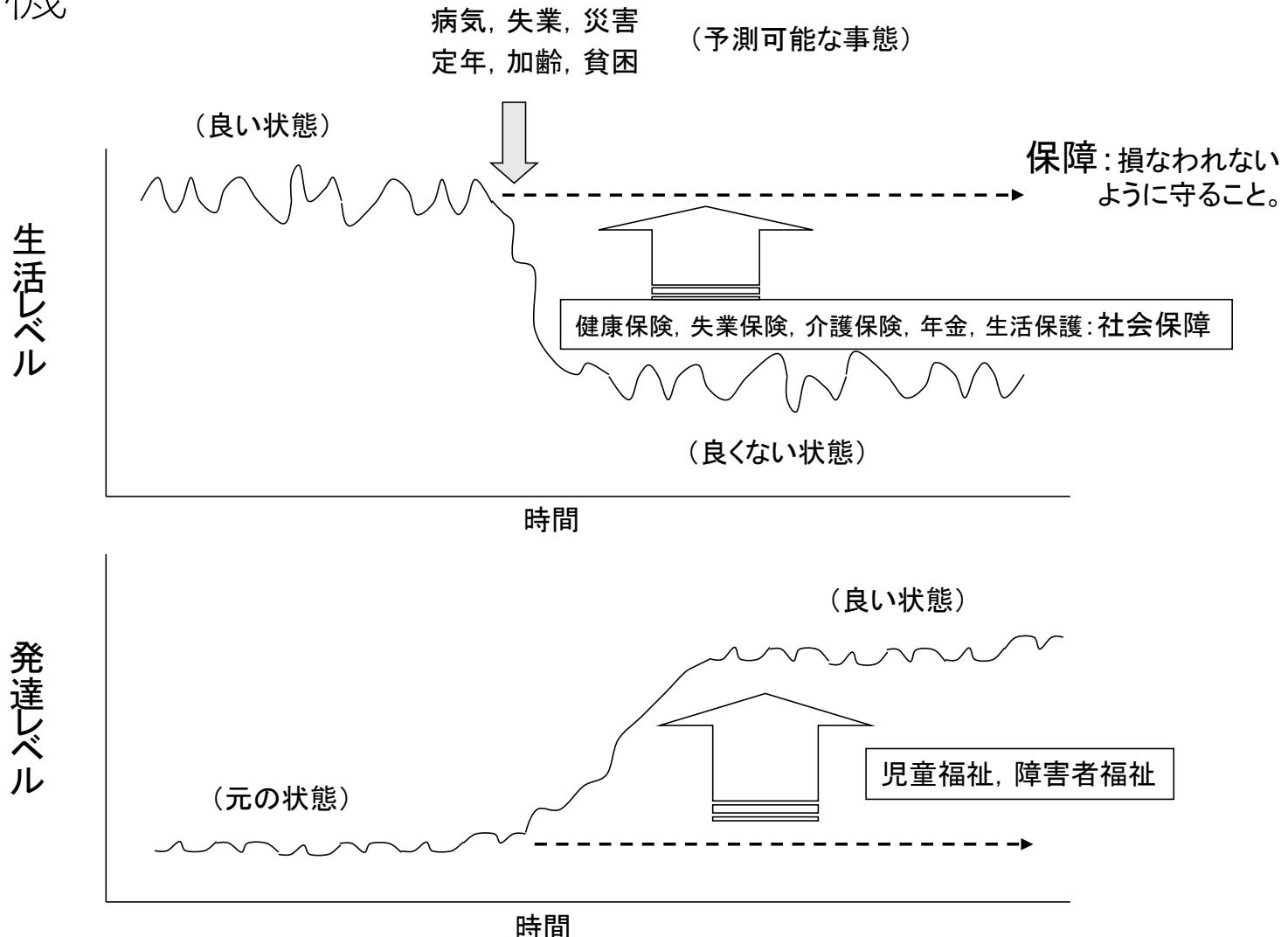
一方で、先天的な疾患や人生の不運によって貧困を余儀なくされる人たちがいる。**人生の運不運**を考えると、再分配制度は不当な収奪ではなく、不運の解消のための有益な政策である。

だから、健康や能力の幸運に恵まれた人や、人生の幸運に恵まれた人が、障害者を税金泥棒と言つたり、生活保護家庭を社会の負担だということはいけないことだ。

社会保障制度を揶揄して、「働くなければ生活保護というご褒美がもらえる、働くと税金という罰金を取られる」というのもいけないことだ。

国民が**勤労と納税の義務**を負っているから社会も福祉制度も成り立っていることを思い起こさなければいけない。

人生における危機



まとめ

- ◆生まれつきの特徴や家庭環境は、本人の責任に帰さられることではない。
- ◆人生の不運も自己責任として不平等が拡大すると、社会に不満が蓄積して社会不安が増大する。だから公平な税制や社会保障制度は大切だ。
- ◆社会福祉制度が完備すると福祉に依存する人たちが出現するのは世の常だ。だから、依存しないような制度設計をしながら、極端な不平等を是正することが求められる。
- ◆福祉政策への不当な依存ができないようなくみ、一時的に福祉政策に頼っても自立する意欲を鼓舞するしくみ、子供への貧困の連鎖を断つしくみ、などの制度設計が必要だ。